

-----12月7日-----

今週のアウトルック(12/7~12/11)

金曜日に発表された米国雇用統計の好結果を受けて、米ドルは大きく上昇しました。85円を大きく割ることができなかったことによる買い戻し、ドバイショックの後退、政府の円高、株安対策など先週はドル高、円安へ向かう理由には欠かなかったように思います。

週末節目となる90円を少し抜けて終了したことから、月曜日の動きが注目されません。このまま円安がもう少し進むという見方が大勢のようですが、メジャーSQやクリスマス休暇前の換金売りなどを控えていることから、あまりすんなり円安が進むとは考えづらいように思います。

ドル円の予想レンジは86円から91円で考えています。

ユーロ円はドル円の上昇につられて、135円目前まで上昇しています。135円を抜けると上昇トレンドに乗れそうですが、ユーロドルが1.5を割り、下降トレンド入りした雰囲気もあるため、135円を早期に大きく超えることは難しいのではないかと考えています。

ユーロ円の予想レンジは130円から135円です。

ポンド円もドル円の影響を大きく受けている状況が続いています。ドル円の巻き返しが一服すれば、再び140円を目指す状況になるのではと考えているのですが、このままドル円が上昇してしまうと、ポンド円も160円を目指す動きになってしまうのかもしれない。予想レンジは140円から150円です。

金曜日のNYダウは雇用統計の好結果にも関わらず、大きく売り込まれる時間帯も出てきています。春先から続いた上昇気流は来年まで持ち越していけるのか？この2週間ぐらいがカギとなりそうです。相変わらず可能性としては大きく売る込まれる時期が来るのではないかと考えているのですが、もしそうなればドルがもう一度大きく売り込まれる時期も今年中にあるのかもしれない。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。